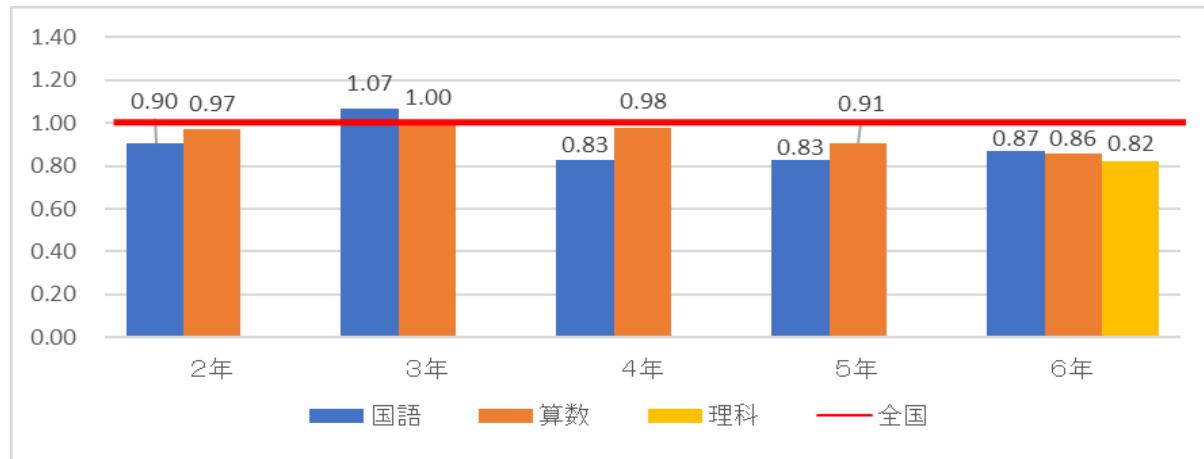


令和7年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第二中学校区 桜小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果
○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習 到達度調査	国語	読解力・表現力の不足が見られるため、短い文章の読み取りを繰り返し行い、読書習慣を身につけるための取組を強化する。また、振り返りなど文章を書く機会を増やし、書くことへの抵抗を減らすことで、文章構成の理解を深める指導や、漢字学習の定着を図りながら読解力の育成を図る。
	算数	論理的思考力に課題があるため、問題解決の場面では、図に表したり具体物を用いたりして、解き方の説明を行う等、思考の過程を明確にする授業に取り組む。また、「見通し」を大切に指導することで、問題を日常生活と結びつけながら考えるなど応用力の育成を図る。
全国学力・ 学習状況調査	国語	文章の構成や表現の意図を深く考察する力、複数の情報を関連付けて論理的に思考する力に課題が見られた。自分の考えを整理し、論理的に表現する力を養うため、思考過程を可視化する学習活動を活発に行い、多様な表現に触れる機会を設ける授業に取り組む。
	算数	日常生活の事象を数理的に考察し、解決策を導き出す力、応用問題、理由や求め方を言葉や式で説明する記述式問題に課題が見られた。その授業でつけるべき力を明確にするとともに、児童と共有し、自己確認する活動を取り入れるとともに、学んだことを表現させる活動を重視する等、指導の工夫を行う。
	理科	複数の観点から事象を考察し、科学的な根拠に基づいて結論を導き出す力や、実験結果から新たな課題を見出したり、実験方法の妥当性を検討したりする力に課題がある。知識の定着とともに、既有知識を活用して課題を解決する力を育むため、実験・観察等の活動や探究的な学習展開をさらに充実させていく。
	質問紙	生活習慣の乱れや読書習慣の定着に課題が見られます。規則正しい生活習慣を身につけられるよう、その重要性を家庭に伝え、連携を高めていく。また、「読み聞かせ」や「紙芝居」で本の世界に浸る活動から読書習慣の醸成を図る。

○学力向上の取組

【中学校区】

- ・校区3校の公開授業を実施し、「真心の授業」を実践するため教科指導の充実を図る。
- ・校区学力部会で各種学力テスト及び質問紙等の分析を行い、結果と課題を共有する。
- ・分析結果を利用した課題克服の手立てを共有し、主体的な学習者の育成をめざす。
- ・自己調整力の向上について3校で取組を交流し、実践を重ねていく。

【学校】

朝学習を活用して、分からぬことをそのままにしない習慣の醸成を図る。家庭学習の習慣については、子どもたち自身で課題を考える内容も含め、自己調整力を育み、勉強に取り組む意欲を促す。また、学校だより等を通じて、早寝早起きの重要性や家庭学習、読書の習慣づけについて保護者に発信し、家庭とともに規則正しい生活習慣をめざす。